

総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会

電力需給検証小委員会 第12回会合

資料3

今回の電力需給検証の進め方について

1. 電力需給検証の体制図

- 震災後の電力需給の逼迫を踏まえ、政府として電力需給対応に万全を期す体制を新たに構築。
- 震災直後は、東京電力管内の計画停電の実施の検討・実施が中心であったが、その後、原発の停止に伴う供給力の減少を背景に、全国を対象に、電力需給の高まる夏と冬の対応を検討。

電力需給に関する検討会合
(平成23年3月13日内閣総理大臣決裁)

座長 : 官房長官
座長代行 : 経済産業大臣
構成員 : 総理を除く全閣僚

電力需給対策
を決定



総合資源エネルギー調査会基本政策分科会
電力需給検証小委員会

小委員長 : 柏木 孝夫(東京工業大学 特命教授)
委 員 : 秋元 圭吾((公財)地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー)
市川 晶久(日本商工会議所 政策第二部 副部長)
植田 和弘(京都大学大学院経済学研究科 教授)
大山 力(横浜国立大学大学院工学研究院 教授)
鯉沼 晃((一社)日本経済団体連合会 資源・エネルギー対策委員会企画部会長)
辰巳 菊子((公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問)
中上 英俊((株)住環境計画研究所 代表取締役会長)
松村 敏弘(東京大学社会科学研究所 教授)

電力需給見通し
の策定・検証(事
後検証を含む)

(スケジュール案)
10月9日(金)第12回
・今夏の振り返り
・今冬の見通し

10月20日(火)第13回
・報告書(案)

2. 検討項目について



第12回
10/9
(金)

2015年度夏季 需給実績の検証

- 2015年度夏季需給実績の報告
 - 需要面(節電対策など)
 - 供給面(トラブル状況など)
- 2015年度夏季取組の実態把握
 - 電力会社からのヒアリング
<関西電力、九州電力>



第13回
10/20
(火)

2015年度冬季 需給見通しの検証

- 2015年度冬季需給見通しの整理・検証
 - 需要面(節電見込みなど)
 - 供給面(定期検査の調整など)
- 2015年度冬季需給に関する実態把握
 - 電力会社からのヒアリング
<北海道電力>
- 2015年度冬季需給に関する実態把握
 - 需要家等からのヒアリング
<北海道庁、北海道大口需要家協議会、日本フランチャイズチェーンストア協会>

報告案の検討・取りまとめ

政府で「2015年度冬季需給対策」を決定

2. 電力需給の検証に関する主要論点の例

【2015年度夏季の需給の検証】

供給面	<ul style="list-style-type: none">○供給力は、想定したものと比べてどうであったか。○火力は、どの程度の供給力であったか。供給に重大な影響を与える計画外停止等の状況はどうか。○水力や再生可能エネルギーによる供給力はどうか。過大又は過小の見通しとなつていなかつたか。○再エネの供給力見通しについて、新たな想定方法を検討してはどうか。○供給面でどのような取り組みがなされたか。
需要面	<ul style="list-style-type: none">○2015年度夏季の需要は、定着節電の目安と比べてどの程度減少(2010年度比)したか。○需要減少は分野によってばらつきはあるか。需要減少となった主な要因は何か。○今回の節電要請は、社会経済活動にどのような影響を及ぼしたか。○いわゆる定着節電がどの程度進んだか。○需要対策としてどのような取り組みがなされたか。

【2015年度冬季の需給見通し】

供給面	<ul style="list-style-type: none">○火力の定期検査、計画外停止等による影響はどの程度か。○長期停止・被災火力の再稼働、緊急設置電源等による出力増、自家発からの購入増、再生可能エネルギーの更なる供給等による供給力の増加は見込めるか。○電力融通の見込みはどうか。○大規模の電源脱落リスクについてどのように考えるか。
需要面	<ul style="list-style-type: none">○2015年度冬季の経済見通し、気温影響の見込みはどうか。○いわゆる定着節電をどの程度見込むのか。○需給調整契約など需要サイドの対策の見込みはどうか。さらなる工夫の余地はないか。